

## 「見聞録」

## メキシコ出張報告書

平成 15 年 2 月 19 日  
岡野一清

1. 出張期間 平成 15 年 2 月 11 日－17 日

2. 出張先 Mexico Cuernavaca 市

3. 用 件 PATH board meeting.

メキシコ水素協会の協力を得て Workshop を開催(米国、カナダ、日本、メキシコ各国の水素プロジェクト現状発表会とパネル討論会。メキシコ政府関係者、メキシコ水素協会、研究所等 70 名参加)

4. 出張者 岡野一清(太田 HESS 会長代理出席)

5. 同行者

(財)エンジニアリング振興協会  
WE-NET 推進室 家入主幹、浅沼主幹

6. PATH Board Meeting

出席者:USA) J.Raskin, Canada) T. Bose, Japan Okano, Ieiri, Asanuma  
PATH) R.Mauro, L.Neer, 弁護士) Robert  
途中 Open 会議からメキシコ水素協会) Dr. Fernandez 会長, Dr. Cstillo, Mr. Espionsa が出席した。

7. 議 事

- 1) 前回議事録確認し、ごく一部修正して承認
- 2) 財務収支説明。承認  
年会費収入の予定 : USDOE \$50,000、  
Canada \$25,000、Japan \$25,000
- 3) 昨年ワシントンでカナダと US で非公式会

談を待ったのでその議事録を日本にも送る。

4) By-Law の内容の一部修正案を弁護士の Mr. Robert が説明し修正案を承認。

5) Insurance、Non-Profit Status 等の説明を承認

6) 2003 年度活動計画を承認

Education, Safety, Demonstration に重点をおいた活動を行なう。

- ・PATH メンバー間で共通意識を持つことを助長するためメキシコで Workshop を開催。

- ・中国での Workshop の開催

- ・現状の技術レベルに対して共通認識を持つために Sourcebook for Hydrogen Applications について、US、カナダ版の更新、日本の経験を加えた日本版の新規作成を行なう。

- ・今回製作した Technical Report(各国の規格基準のマトリックス)の更新維持管理

- ・各国の CO2 関係法令に関する Technical Report を作成する。

7) 英国、ポルトガル、オランダが PATH の活動に関心を示している。

8) DOEを通じて APECに PATH への関心を持たせるような活動を行なう。

9) オンライン News Letter を発行する。

10)今後の PATH の会議の計画

6 月バンクーバ(H2&FC2003)、9 月北京(Hyforum)、来年 3 月又は 4 月ロサンゼルス(NHA)。北京では Workshop を開催。

8. 我が国における今後の PATH への対応対策

2003 年度から PATH は本格的な活動を開始しようとしているが、我が国もそれらの活動を支援する必要がある。HESS の現状では財政、活動体制などが弱体であるため積極的な国際的対応が難しい状況

にある。財政的には 2003 年度は NEDO/(財)エンジニアリング振興協会の支援を受けることが最善の策と思われる。

NEDO による H15 年度の新規研究開発テーマの公募締め切りが 8 月 20 日であるので、(財)エンジニアリング振興協会と協力して予算の確保を行なうことが必要である。

従来(財)エンジニアリング振興協会は国際標準化事務局や国際関係業務を行なってきた実績があり、HESS は(財)エンジニアリング振興協会経由で受託するのが最適である。

今回(財)エンジニアリング振興協会の国際協力担当の家入主幹が同行したので PATH の状況を理解し NEDO との折衝を行なう予定であるが、HESS 会長から NEDO 室長、場合によっては資源エネルギー庁への要請が必要となろう。